

平成18年度 活動計画・実績（書）【1/1】

（記入は、別に定める記入要領により、紙面が不足する場合は本用紙にて追加する。）

No	事業課題 （テーマ）	No	事業概要	No	実施項目	区分	～前年度末	日 程												次年度以降	備考 【計画変更の理由など】													
								4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3															
1	情報化施行等の未来技術に対応した情報化機器の研究		世間ではITの活用がトレンドとなっているが、建設分野では情報化施工として様々な試みが行われている。 情報化施工を行うにあたって、建設機械に搭載されている電装品や計器に新たな機能を求められたり、新たな電子機器が搭載されることが十分に予測される。このような新たな電子機器を情報化機器と名付け、将来の情報化施工に対応した機器の方向性を把握し、標準化活動につなげる。	1	建機遠隔稼働管理データ配信フォーマット（EagleJCMAS）のJCMAS化フォローとISO/DIS15143との整合作業	計当初 国内標準化 画変更 委員会にて 実績 審議中																												
								2	情報化施工現状調査 他業界IT適用現状調査	計当初 画変更 実績																								
								3	標準化アイテム検討	計当初 画変更 実績																								
2	電装品未来技術調査		自動車等で先行しているOBD等のエンジン電子制御の故障診断情報やツールの標準化等の先端技術を調査し、建機の適用可能性を検討する。	1	建機へのOBD適用の法規制等の動向調査および先行する自動車（オンロードトラック）の技術調査	計当初 画変更 実績																												
							3	電装品関連の標準化について可能性を検討する。特に、労働災害の防止や災害復旧への対応改善等、安全の向上を目標に活動する。また、環境保全のため、環境負荷物質の低減についても活動する。	計当初 画変更 実績																									
							4	広報活動	計当初 画変更 実績																									
3	電装品標準化		電装品関連の標準化について可能性を検討する。特に、労働災害の防止や災害復旧への対応改善等、安全の向上を目標に活動する。また、環境保全のため、環境負荷物質の低減についても活動する。	1	後方監視カメラはショベルに急速に普及始まりつつあるので、ISO16001の規格の問題点や改善点の立案を実施する	計当初 画変更 実績																												
							2	フューズや電子回路等の標準化検討	計当初 画変更 実績																									
							3	電装品の鉛フリー化等の環境負荷物質低減に向けて、他業界の技術革新の建機への適用を検討する。	計当初 画変更 実績																									
4	JACMAS、ISO、JIS	標準部会等の依頼に都度対応する。	1	遠隔操縦装置のJCMAS案検討 現状の製品に即した標準化案への改訂 安全性向上を目的とした標準策定	計当初 画変更 実績	計当初 画変更 実績																												
							2	ISO案：DIS15998 「電子式機械制御装置－性能基準および試験」の審議	計当初 画変更 実績																									
							3		計当初 画変更 実績																									
会議開催日程（開催日時等）：																																		

活動 結果	【上期】(1)結果：	【下期】(1)結果：
	1. 建機遠隔稼働管理データ配信フォーマットは、「標準化ジャーナル」誌上で「意見受付広告」に付し（期間5/15～7/15）、意見受付期間中に意見がなかったため、制定されることとなった。	1. 建機遠隔稼働管理データ配信フォーマットは、9/21にG007としてJCMAS制定完了した。
	2. 遠隔操縦装置のJCMAS案検討として、災害復旧等の緊急を要する現場での無線通信の混信を予防したり、速やかな混信の復旧を目的としたJCMAS案「建設機械用遠隔操縦装置および画像電送装置等の無線利用調査票」を作成した。	2. ISO/DIS16001: Hazard detection systems and visual aids - Performance requirements and tests の案文詳細を調査し、現在急速に普及し始めた後方監視カメラ等のシステムと不適合がないことを確認した。
	3. ISO案：FDIS15998の最終投票直前に案文の内容が大きく変わってしまい、従来の賛成から反対に投じざるを得ない状況になったが、これを改善するための案文修正案を作成し、日本側意見として提出することとした。	3. 「建設機械用遠隔操縦装置および画像電送装置等の無線利用調査票」のJCMAS案を策定し、ユーザ側の意見徴集のため、建設無人化施行協会の技術委員会にて案文を審議、指摘対応中。
	(2)今後の方針： 当初計画から遅れ気味ではあるが、残り半期で計画した項目を順次活動してゆく。	(2)今後の方針： 協会事業計画策定方針のうち、特に「安全・災害対策」と「ICTの利活用」を重点に活動する。